東京市水道統計表

昭和二年

14.4
697
14. 4-697
1200501208102

始

昭和二年

東京市水道統計表

東京市役所

144-697

行所寄贈本

正誤表

箇所		誤	正
第三、(其二)ノ備考中		過水	濾過水
第四、(其一)ノ備考中		ニヨリ原水ヲ	ニヨリ源水ヲ
〃		原水不足ノ際	源水不足ノ際
第十、(甲表)ノ試驗回數中		1 3	113
第十一、(乙表)四月濾水ノ細菌聚落數		一	二
第十二、	大正九年人口	二、二七七、八八四	二、三七七、八八四
〃	備考中	大雯災	大震災

第一、工事、工費竝規模

昭和三年三月三十一日現在

	起工年月	竣工年月	工費(圓位未滿四捨五入)	計畫 豫定給水人口	計畫 豫定一人一日平均給水量	計畫 極度一日總給水量◎	備考
創設	明治二十五年十二月	明治四十四年三月	九、一八八、六七二円				
第一回擴張	大正二年十一月	昭和九年度中 内 第一期昭和二年三月 第二期(復興速成 昭和四年三月／第二期同七年三月) 第三期昭和十年三月	六六、九四八、七五三 内 三五、五三六、七五三 五、一三〇、〇〇〇 二四、六四二、〇〇〇 一、六五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一六七 リットル	五〇〇、〇〇〇 立方米(四捨五入)	

第二、水源、水路

(其一) 水源

昭和三年三月三十一日現在

河又ハ湖沼等ノ名稱	表面水、伏流水、地下水等ノ區別	最大渇水時季水量(本年度最小水量)	取入方法	備考
多摩川	表面水	四、七三三 毎秒リットル	自然流下	現在設備ニ依ル取入最大可能量ハ毎秒二二四〇〇リットルニシテ本年度中ノ實際取入平均水量ハ八、四〇六リットルナリ

(其二) 鑿井

昭和三年三月三十一日現在

個數	口徑	井ノ深	一晝夜最大水量	一晝夜最少水量	備考
ー	ー 粍	ー 米	ー 立方米	ー 立方米	

（其三）源水貯水池

昭和三年三月三十一日現在

池　數	堰堤ノ體質	總高	總長	滿水面下ノ深	總貯水量	總水面積
村山上貯水池　一	土堰堤	一六.六七 米	一、四五四.五四 米	有効一〇.五〇 米	有効 二、六六九、一六八 立方米	約 四〇六、一七九 平方米
村山下貯水池　一	〃	二七.一三	二、〇九〇.九一	〃 一五.九〇	〃 九、六五五、七八七	約 一、〇一六、五九五

備考
總容積
上貯水池 二、九八二、四〇三立方米
下　〃　九、九三四、二〇三 〃

（其四）導水路

昭和三年三月三十一日現在

隧道、暗渠、開渠、鐵管、木管、鐵筋コンクリート等ノ區別	總延長	上幅	下幅	水深	水管延長内譯 五百粍以上	水管延長内譯 四百粍以上五百粍未滿	水管延長内譯 四百粍未滿
隧道、暗渠、開渠	六二、四八四 米						
開渠（玉川上水路）		九.〇九 米	三.〇三 米	三.〇三 米	— 米	— 米	— 米
開渠隧道（羽村村山線）		三.三三	二.九一	三.三三	—	—	—
暗渠（村山境線）		二.四二	二.一三	二.三三	—	—	—

備考
隧道延長八、〇五五米、暗渠延長一一、二五五米
開渠延長四三、一七四米、
羽村、村山線及村山、境線ノ上下各幅ハ内法ニシテ水深ハ中央最高ヲ示ス隧道及暗渠ハ馬蹄形混凝土卷ナリ

第三、淨水場

（其一）沈澄池

昭和三年三月三十一日現在

池　數	總容積	池ノ大サ 長 上部	池ノ大サ 長 下部	池ノ大サ 幅 上部	池ノ大サ 幅 下部	池ノ大サ 深 總深	池ノ大サ 深 有効水深	備考
淀橋　四	三三、九一八 立方米	二八.一八 米	二〇一.六四 米	一〇三.〇三 米	八六.四九 米	六.〇六 米	四.二四 米	

(其二) 濾過池

昭和三年三月三十一日現在

池數	◎總面積	一池ノ大サ 長 上部	一池ノ大サ 長 下部	一池ノ大サ 幅 上部	一池ノ大サ 幅 下部	一池ノ大サ 總深	濾床厚	一晝夜濾過速度	備考
淀橋 二四	九五、五二四平方米	七八・一八米	七七・五七米	五〇・九一米	五〇・三〇米	二・七三米	一二七・四〇糎	三・〇三米	境浄水場内ニ三池増設工事中ニシテ内二池ハ殆ド完成ノ域ニアリ 昭和二年度中ノ過水量ハ一三三、三三三、九六六立方米
境 一三	五六、一五六	八六・六七	八六・三六	五四・二四	五三・九四	三・〇三	一五一・六〇	三・〇三	

(其三) 淨水池

昭和三年三月三十一日現在

池數	◎總容積	一池ノ大サ 長 上部	一池ノ大サ 長 下部	一池ノ大サ 幅 上部	一池ノ大サ 幅 下部	有効水深	備考
淀橋 一	二七、八二六立方米	七六・七三米	七六・一三米	一〇九・〇九米	一〇八・四八米	二・六七米	
芝、本郷 二	五五、六五三	六六・五〇	六五・五九	九四・一一	九三・二〇	三・八八	
和田堀 一	四一、七四〇	七八・一八	七八・一八	六五・九一	六五・九一	七・二七	

第四、喞筒

(其一) 取水喞筒

昭和三年三月三十一日現在

臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	一臺ノ工率	最大揚水落差(小數二位以下四捨五入)	一臺一晝夜ノ最大揚水量	備考
淀橋 二	渦巻喞筒	横式單段	電氣	英國アーレン父子會社	四六・〇キロワット	一三・六〇米	一九、二〇〇立方米	本市水道ハ自然流下ニヨリ原水ヲ取入ルヽモノナルモ渇水期等ニ於テ多摩川ノ原水不足ノ際井ノ頭ノ湧水多摩川ノ伏流水等ヲ取入ル、爲本喞筒ヲ設備スルモノナリ
羽村 二	〃	〃	〃	株式會社荏原製作所	一台 三七・三 一台 一八・六	七・六〇 一四・〇〇	二四、〇〇〇 五、三五〇	
井ノ頭 三	タービン喞筒	〃	〃	〃	三七・三	三〇・〇〇	四、八〇〇	

(其二) 送水喞筒

昭和三年三月三十一日現在

臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	一臺ノ工率	最大揚水落差（小數二位以下四捨五入）	一臺一晝夜ノ最大送水量	備考
六	淀橋タービン喞筒	横式單段	電氣	二台、荏原製作所 二台、三菱造船所 一台、日立製作所 一台、ズルツアー會社	二六〇キロワット	四五.五〇米	三三、三二〇立方米	

第五、水管並水壓

昭和三年三月三十一日現在

鐵管、木管、鐵筋コンクリート管等ノ區別	配給水管	延長
鐵管	千二百粍以上	七、四四七米
	千百粍以下	一六、〇九〇米
	九百粍以下	一二、六八一米
	八百粍以下	一〇、五七六米
	七百粍以下	六、四四六米
	六百粍以下	二三、四二四米
	五百粍以下	一六、二八七米
	四百粍以下	二四、二〇五米
	三百粍以下	四四、六七二米
	二百五十粍以下	六七、七五七米
	二百粍以下	九八、二四五米
	百五十粍以下	二九二、二五六米
	百粍	四七七、四六五米
	百粍以下	五五六米
	計	一、〇九七、一〇七米

一平方糎水壓		
設計		七.五〇瓩
實際	最低	〇瓩
	最高	三.四九瓩
備考		

第六、經常收支

（備考）一、支出ニハ水道事務費、水源水路費、諸池費、喞筒運轉費、鐵管維持費等水道經營ニ要スル經常費ノミヲ掲ケ各戶給水ニ要スル給水工事費及之ニ關聯スル事務費等ヲ除外シ雜支出中ニハ休退職竝ニ死亡給與金水質試驗費等ノ雜費ヲ計上ス
二、收入、支出共本年度豫算欄ニハ昭和二年度豫算額ヲ、前年度決算欄ニハ大正拾五年度昭和元年度決算額ヲ計上ス

（其一）收入

昭和二年度中

（備考）圓位未滿ハ四捨五入

放任給水料				計量給水料						雜收入		合計		備考
專用栓		共用栓		普通計量		特別計量		共用計量						
本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	
―円	―円	―円	―円	四、五六二、八九〇円	四、〇四五、八四九円	六一三、〇二八円	五五四、七三三円	三三三、五〇二円	一三七、五二七円	九一〇、六五〇円	五二四、六七一円	六、四二〇、〇七〇円	五、二六二、七七九円	豫算ハ當初豫算ヲ掲ク 昭和二年度豫算ハ放任計量水量區分シ難キヲ以テ豫算決算共計量給水料欄ニ其合算額ヲ掲ク

（其二）支出

昭和二年度中

（備考）圓位未滿ハ四捨五入

事務費		水源水路費		淨水場費		水管維持費		雜支出		合計		備考
本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	本年度豫算	前年度決算	
一、〇一四、七三三円	九二三、九四〇円	一四七、〇八二円	一二二、〇五三円	二八四、九六七円	三五二、四五二円	二六三、〇九四円	一八五、二九四円	二五三、九五〇円	一五〇、五三三円	一、九六三、八二六円	一、七三四、二七一円	事務費中ニハ 量水器費　九五、〇〇〇円 試驗場費　六七、七四〇円 ヲ含ム

第七　配水實費

昭和二年度中

（備考）經常費各內譯欄ニハ昭和二年度決算額ヲ計上ス

經常費決算						配水總量	配水一立方米ニ對スル實費	配水一立方米ニ對スル送水喞筒費	備考
事務費	水源水路費	淨水場費	水管維持費	雜支出	計				
円 九〇八、六七二	円 一四一、九八四	円 二三五、〇四九	円 二一四、四二六	円 二〇〇、五四八	円 一、七〇〇、六七九	立方米 一二九、九九四、四六四	錢 一 厘 三 毛 一	錢 厘 毛 九	配水一立方米ニ對スル送水喞筒費中機關手同助手等ノ人件費ハ事務費中ニ含マレ區分シ難キヲ以テ之ヲ除外セリ

第八、水道ト河井トノ使用比較

昭和三年三月三十一日現在

摘要								備考
給水區域內總戶口數		水道使用戶口數		堀井又ハ河水等使用戶數	堀井數	堀井又ハ河水等ノ水質槪況		
戶數	人口	戶數	人口			細菌聚落數		
四六七、七〇〇	二、一四三、二〇〇	三六三、三二三 市外 二二三	二、〇七四、八三四 市外 二一、〇二六	二五、一一二	五、八九九	七九六		本市ニハ河水使用者ナシ

備考

一、給水區域內總戶口數ハ昭和二年十月一日現在推計ナリ

二、水道使用人口ハ昭和二年十二月三十一日現在數ヲ揭ク

三、堀井使用戶數ハ昭和二年五月現在數ナリ

四、堀井數ハ大正十一年六月調查ニ據ル飲用堀井數ナリ

五、細菌聚落數ハ昭和二年中飲用堀井試驗（五二二回）ノ平均數ナリ

(第九) 濾過水質試驗成績(甲表) 自昭和二年一月 至仝　年十二月

昭和二年		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全成績
試驗回數		70	60	70	21/73	9/105	6/83	6/85	6/117	6/79	7/114	6/76	6/91	273/1037
色度	最高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
濁度	最高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臭味		異臭味ナシ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	異臭味ナシ
反應		弱アルカリ性	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	弱アルカリ性
クロール	最高	1.418	1.418	1.418	1.418	2.123	1.595	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	
	最低	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.240	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	
	平均	1.418	1.418	1.418	1.418	1.740	1.388	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.428
硫酸		痕跡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	痕跡
硝酸		痕跡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	痕跡
亞硝酸		檢出セス	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	檢出セス
アンモニア		檢出セス	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	檢出セス
硬度	最高	1.978	1.978	1.978	1.978	2.230	2.134	1.978	1.918	1.918	1.978	1.926	1.590	
	最低	1.952	1.978	1.978	1.978	1.850	1.825	1.900	1.900	1.900	1.900	1.900	1.800	
	平均	1.975	1.978	1.978	1.978	1.923	1.966	1.931	1.909	1.907	1.922	1.909	1.911	1.967
固形物總量	最高	66.000	63.000	63.000	63.000	73.000	83.000	68.000	60.000	65.000	63.000	71.000	63 000	
	最低	58.000	57.000	57.000	52.000	58.000	60.000	59.000	57.000	58.000	59.000	58.000	58 000	
	平均	60.471	60.483	59.871	59.667	64.222	70.167	63.500	58.500	60.167	60.429	64 833	59.833	60.692
過マンガン酸カリウム消費量	最高	1.264	1.422	1.264	1.264	2.133	1.738	1.264	1.150	1.218	1.185	1.738	1.200	
	最低	1.264	1.116	1.116	1.116	0.711	1.185	1.185	1.106	1.106	1.185	1.006	1.185	
	平均	1.264	1.210	1.135	1.224	1.179	1.409	1.211	1.117	1.177	1.185	1.181	1.187	1.204
細菌聚落數	最高	26	42	68	25	48	25	56	63	26	61	32	38	
	最低	4	3	4	3	2	2	7	4	14	4	4	2	
	平均	10	12	13	12	11	11	20	26	20	20	15	13	16

備考

(一) 本表濾過水ハ淀橋淨水場濾過池淨水池溜井等ノ中央濾水ヲ謂フ　(二) 色度及濁度ノ項ニ掲ケタル數ハ比較ニ供セル一「リートル」ノ水ニ對シ四萬倍「ビスマルク.ブラウン」水溶液一立方「センチメートル」及白陶土一「ミリグラム」ヲ各一度トス　(三) クロール、固形物總量及過マンガン酸カリウム消費量ハ水一「リートル」中ニ含有スル「ミリグラム」ヲ示ス　(四) 硬度ノ項ニ掲ケタル數ハ獨逸法トス　(五) 細菌聚落數ハ水一立方「センチメートル」中ノ個數ナリ但シ二月4回、三月14回、四月2回、五月1回、計21回ハ細菌培養壞液化シ計算スルコト能ハサルヲ以テ平均數中之ヲ省ケリ　(六) 各成分ノ平均數ハ各個ノ試驗ノ總數ヲ試驗回數ヲ以テ除シタルモノ前年平均數ハ各月ノ平均數ヲ更ニ平均シタルモノナリ　(七) 試驗回數ノ欄ニ於テ斜線上ノ數字ハ化學的試驗ノ回數ヲ表ハシ斜線下ノ數字ハ細菌學的試驗ノ回數ヲ表ハス

濾過水質試驗成績（乙表）　自昭和二年一月 至仝　年十二月

昭和二年		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全成績
試驗回數		25	27	43	11/48	6/66	4/53	4/54	4/64	4/51	4/51	6/64	4/49	142/595
色度	最高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
濁度	最高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臭味		異臭味ナシ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	異臭味ナシ
反應		弱アルカリ性	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	弱アルカリ性
クロール	最高	1.418	1.418	1.418	1.418	1.773	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	
	最低	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	
	平均	1.418	1.418	1.418	1.418	1.536	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.418	1.423
硫酸		痕跡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	痕跡
硝酸		痕跡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	痕跡
亞硝酸		檢出セス	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	檢出セス
アンモニア		檢出セス	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	檢出セス
硬度	最高	1.978	1.978	1.978	1.978	2.030	1.850	1.918	1.918	1.980	1.962	1.920	1.918	
	最低	1.978	1.978	1.978	1.978	1.850	1.825	1.850	1.900	1.900	1.900	1.900	1.875	
	平均	1.978	1.978	1.978	1.978	1.965	1.831	1.892	1.914	1.959	1.944	1.909	1.893	1.934
固形物總量	最高	67.000	63.000	63.000	62.000	84.000	66.000	68.000	74.000	71.000	70.000	81.000	71.000	
	最低	60.000	59.000	58.000	57.000	58.000	61.000	60.000	63.000	61.000	60.000	62.000	58.000	
	平均	61.760	61.370	60.721	59.364	72.833	63.250	62.500	68.500	66.250	64.750	70.167	66.000	62.592
過マンガン酸カリウム消費量	最高	1.580	1.896	1.893	1.580	2.084	1.580	1.819	1.880	1.185	1.185	2.896	2.418	
	最低	1.580	1.264	1.264	1.264	1.343	1.422	1.185	1.185	1.185	1.185	1.264	1.106	
	平均	1.580	1.557	1.367	1.341	1.770	1.521	1.428	1.458	1.185	1.185	1.681	1.778	1.483
細菌聚落數	最高	23	46	52	32	37	23	22	51	26	59	28	35	
	最低	4	4	5	1	2	2	8	12	13	2	3	3	
	平均	11	14	16	11	11	10	17	22	18	18	11	11	14

備考

（一）本表濾過水ハ境淨水場濾過池、和田堀線溜井、和田堀給水場淨水池等ノ中央濾水ヲ謂フ

（二）細菌聚落數中一月6回、二月3回、三月2回、四月2回、計13回ハ細菌培養壤液化シ計算スルコト能ハサルヲ以テ平均數中之ヲ省ケリ

（三）其他記載例ハ第九表ニ同シ

第十　各種水質試驗成績（甲表）

自昭和二年一月
至仝　年十二月

檢水種類		源水	沈澄池（淀橋淨水場內）	濾水（淀橋淨水場濾池淨水池溜井）	市內栓
試驗回數		10	1'3 / 181	273 / 1037	693 / 1287
色度	最高	0	4.0	0	0
	最低	0	0	0	0
	平均	0	0.6	0	0
濁度	最高	1.0	18.0	0	0
	最低	0	0	0	0
	平均	0.3	5.7	0	0
臭味		異臭味ナシ	〃	〃	〃
反應		弱アルカリ性	〃	〃	〃
クロール	最高	1.418	1.773	2.123	1.773
	最低	1.064	1.127	1.240	1.063
	平均	1.180	1.438	1.428	1.413
硫酸		痕跡	〃	〃	〃
硝酸		痕跡	〃	〃	〃
亞硝酸		檢出セス	〃	〃	〃
アンモニア		檢出セス	〃	〃	〃
硬度	最高	1.940	2.004	2.230	2.108
	最低	0.775	1.550	1.800	1.185
	平均	1.457	1.937	1.967	1.932
固形物總量	最高	63.000	80.000	83.000	88.000
	最低	49.000	52.000	52.000	44.000
	平均	55.500	66.734	60.692	62.612
過マンガン酸カリウム消費量	最高	2.312	3.555	2.133	1.580
	最低	1.896	1.002	0.711	0.948
	平均	2.111	2.072	1.204	1.162
細菌聚落數	最高	3750	4200	68	68
	最低	85	110	2	3
	平均	994	716	16	17
備考		（一）沈澄池9回、濾水21回、市內栓18回、ハ細菌培養壞液化シ計算スルコト能ハサルヲ以テ平均數中之ヲ省ケリ （二）其他記載例ハ第九甲表ニ同シ			

各種水質試驗成績　（乙表）

自昭和二年一月
至仝　年十二月

檢水種類		村山貯水池（上ノ池引入口 仝 引出口 下ノ池引出口）	導水路（境淨水場內大開渠）	濾水（境淨水場濾池及和田堀線溜井）	和田堀淨水池（引出口）
試驗回數		39	19 / 32	142 / 595	43 / 62
色度	最高	1·0	1·0	0	0
	最低	0	0	0	0
	平均	0·2	0·2	0	0
濁度	最高	25·0	8.0	0	0
	最低	0	0	0	0
	平均	4.2	3.7	0	0
臭味		異臭味ナシ	〃	〃	〃
反應		弱アルカリ性	〃	〃	〃
クロール	最高	1·418	1·773	1·773	1·773
	最低	1·241	1·418	1·418	1·418
	平均	1·413	1·437	1·423	1·426
硫酸		痕跡	〃	〃	〃
硝酸		痕跡	〃	〃	〃
亞硝酸		檢出セス	〃	〃	〃
アンモニア		檢出セス	〃	〃	〃
硬度	最高	2.160	2·004	2·030	2·030
	最低	1·775	1·825	1·825	1·825
	平均	1·978	1·925	1·934	1·951
固形物總量	最高	96·000	87·000	84·000	84·000
	最低	56·000	59·000	57·000	58·000
	平均	68·487	63·684	62·592	63·395
過マンガン酸カリウム消費量	最高	3·154	2·291	2·896	2·418
	最低	0·948	1·185	1·106	1·106
	平均	2·112	1·761	1·483	1·481
細菌聚落數	最高	2300	2100	59	46
	最低	100	101	2	5
	平均	909	652	14	15
備考		（一）濾水9回、和田堀、給水場淨水池4回ハ細菌培養壤液化シ計算スルコト能ハサルヲ以テ平均數中之ヲ省ケリ （二）其他記載例ハ第九甲表ニ仝シ			

第十一源水濾水比較試驗成績（甲表）

自昭和二年一月
至仝年十二月

昭和二年	降水量	細菌聚落數 源水	細菌聚落數 濾水	クロール 源水	クロール 濾水	過マンガン酸カリウム消費量 源水	過マンガン酸カリウム消費量 濾水	固形物總量 源水	固形物總量 濾水
一月	一九、八粍	一八六三	一〇	一、四一八	一、四一八	一、九四一	一、二六四	七四、五七一	六〇、四七一
二月	三九、〇	一三一七	三	一、四一八	一、四一八	一、八九六	一、二一〇	七三、三三三	六〇、四八二
三月	二四九、一	二九六七	一三	一、四一七	一、四一八	一、九八六	一、一三五	七二、〇〇〇	五九、八七一
四月	一三一、六	一一九	一三	一、四一八	一、四一八	三、三九七	一、二二四	七四、〇〇〇	五九、六六七
五月	三五二、一	三四四	一二	一、九一三	一、七四〇	二、九二三	一、一九七	六八、六六七	六四、三三三
六月	一五一、九	一六八	一二	一、四一八	一、三八八	二、六〇二	一、四〇九	七〇、〇〇〇	七〇、一六七
七月	一三五、九	三二四	二〇	一、四一八	一、四一八	二、五六八	一、二二一	六〇、〇〇〇	六三、五〇〇
八月	一二六、八	三〇一	二六	一、四一八	一、四一八	二、三七〇	一、一一七	六九、五〇〇	五八、五〇〇
九月	四一〇、三	五五九	二〇	一、四一八	一、四一八	一、八五九	一、一七七	六五、〇〇〇	六〇、一六七
十月	六四、八	六三三	二〇	一、四一八	一、四一八	二、〇九四	一、一八五	六一、〇〇〇	六〇、四二九
十一月	六九、九	九六八	一五	一、四一八	一、四一八	一、六五九	一、一八一	八〇、〇〇〇	六四、八三三
十二月	三二、六	九四四	一三	一、四一八	一、四一八	二、三七〇	一、一八七	六二、〇〇〇	五九、八三三
全成績	一四八、七	六一五	一六	一、五〇五	一、四二六	二、四〇二	一、二〇四	六七、七六五	六〇、六九二

備考

（一）、降水量ハ東京市水道局淀橋淨水場ニテ測定シタルモノニシテ各月ノ總降水量ヲ示ス

（二）、本表源水ハ淀橋淨水場大開渠（引入口）ヲ採リ濾水ハ中央濾水ヲ採リ總ヘテ各月平均數ヲ示ス

第十一源水濾水比較試驗成績（乙表）

自昭和二年一月
至仝年十二月

昭和二年	降水量	細菌聚落數 源水	細菌聚落數 濾水	クロール 源水	クロール 濾水	過マンガン酸カリウム消費量 源水	過マンガン酸カリウム消費量 濾水	固形物總量 源水	固形物總量 濾水
一月	一九、八粍	一四〇〇	二	一、四一八	一、四一八	一、五八〇	一、五八〇	六一、五〇〇	六一、七六〇
二月	三九、〇	／	一四	／	一、四一八	／	一、五五七	／	六一、三七〇
三月	二四九、一	一四五〇	一六	一、四一八	一、四一八	一、四三三	一、三六七	六五、〇〇〇	六〇、七二一
四月	一三一、六	五〇〇	一	一、四一八	一、四一八	二、二二三	一、三四一	六八、〇〇〇	五九、三六四
五月	三五二、一	二六九	二	一、五三六	一、五三六	二、一〇七	一、七七〇	七三、三三三	七二、八三三
六月	一五一、九	一八六	一〇	一、四一八	一、四一八	一、九三八	一、五二二	六五、五〇〇	六三、二五〇
七月	一三五、九	二〇四	一七	一、四一八	一、四一八	一、五四三	一、四二八	六四、〇〇〇	六三、五〇〇
八月	一三六、八	七四五	三	一、四一八	一、四一八	一、九七六	一、四六八	七一、五〇〇	六八、五〇〇
九月	四一〇、三	五四四	一八	一、四一八	一、四一八	二、四一〇	一、一八五	六八、五〇〇	六六、二五〇
十月	六四、八	七四二	一八	一、四一八	一、四一八	一、三三五	一、一八五	六五、五〇〇	六四、七五〇
十一月	六九、九	九二四	二	一、四一八	一、四一八	二、〇五四	一、六八一	八〇、三三三	七〇、一六七
十二月	三二、六	九一五	二	一、四一八	一、四一八	一、六六八	一、七七八	六六、五〇〇	六六、〇〇〇
全成績	一四八、七	六五二	一四	一、四三七	一、四二三	一・七六一	一、四八二	六八、六八四	六二、五九二

備考

（一）、降水量ハ東京市水道局境淨水場ニテ測定シタルモノニシテ各月ノ總降水量ヲ示ス

（二）、本表源水ハ境淨水場大開渠（引入口）ヲ採リ濾水ハ境淨水場濾過池、和田掘線溜井和田堀淨水池ヲ採リ總ヘテ各月平均數ヲ示ス

第十二　水ニ因ル三傳染病患者比較表

年次	人口	戸數	給水栓數	コレラ 患者數	コレラ 死亡數	腸チフス 患者數	腸チフス 死亡數	赤痢 患者數	赤痢 死亡數	三病患者總數	人口十萬ニ對スル三病患者ノ割合（小數以下四捨五入）	三病患者死亡總數	人口十萬ニ對スル三病患者死亡ノ割合（小數以下四捨五入）
明治二十七年	一、二九八、五七六	二九〇、九八六	—	—	二	—	一四五	—	三一	—	—	一七八	一三、四〇八
同二十八年	一、三二九、七二六	二九四、四六五	—	—	二、二〇〇	—	三〇四	—	三九	—	—	二、五四三	一九一、一四一
同二十九年	一、三六五、〇六八	二九八、九〇二	—	—	二二五	—	六〇三	—	一〇八	—	—	九二六	六七、八三五
同三十年	一、四〇三、七六九	三〇三、七九一	—	—	四六	—	二五二	—	六八〇	—	—	九七九	六九、七四一
同三十一年	一、四二五、三六六	三一六、五一七	—	—	三	—	三三六	—	三〇九	—	—	六五七	四六、〇九三
同三十二年	一、四九七、七八四	三二七、七九六	一四、一七三	—	一〇	—	三一四	—	一八三	—	—	五〇七	三三、八五〇
同三十三年	一、四九七、五六三	三五五、五一七	四三、七三九	—	六	—	三〇二	—	九九	—	—	四〇七	三三、八五五
同三十四年	一、六三〇、八九四	三八一、三八六	三九、五一〇	—	三	—	二八五	—	八四	—	—	三七二	二二、八一〇
同三十五年	一、七〇五、〇二八	四〇八、三八八	六七、六六四	—	三八	—	二四九	—	一一一	—	—	三九八	二三、三四三
同三十六年	一、八〇三、五八四	四四七、二一三	七五、二九四	—	一四	—	二一八	—	一四九	—	—	三八二	二一、一二五
同三十七年	一、八七〇、六六八	四五八、五三八	七九、八九〇	—	—	—	四八〇	—	一二〇	—	—	六〇〇	三二、〇六九
同三十八年	一、九六九、八三三	四八五、〇二三	八七、五七八	—	—	—	三〇三	—	七七	—	—	三八〇	一九、二九一
同三十九年	二、〇六三、八二八	五〇五、二四一	九七、一六三	—	—	—	四二七	—	二五	—	—	五四二	二六、二六二
同四十年	二、一四六、〇四二	五二三、五五八	一〇九、二七三	—	八九	—	三四一	—	七四	—	—	五〇四	二三、四八五
同四十一年	二、一六八、一五二	五四二、〇九〇	一一八、七七四	—	四	—	三四六	—	九八	—	—	四四八	二〇、六六三
同四十二年	一、六二五、〇七九	四二九、一二七	一二七、三六〇	—	—	—	三九六	—	九九	—	—	四八九	三〇、一三八
同四十三年	一、八〇五、八一二	四六六、一六四	一三五、九二三	—	一	—	一、一五九	—	一〇九	—	—	一、二六九	七〇、二七四
同四十四年	一、九〇七、一七二	四八八、〇二五	一四八、三六四	—	—	—	四八九	—	一七〇	—	—	六五九	三四、五五二
同四十五年 大正元年	二、〇〇九、九八一	五一一、三九四	一四六、一七四	—	一六八	—	四八四	—	四三二	—	—	一、〇八四	五三、九三二
同二年	二、〇三三、三三一	五一九、七三五	一六一、七七二	—	—	—	四二六	—	四〇四	—	—	八三〇	四〇、八〇三
同三年	二、一〇〇、三〇七	五四〇、九九五	一七六、〇四一	—	—	—	四六六	—	五〇四	—	—	九七〇	四六、一八四
同四年	二、二四四、七六九	五八四、七〇七	一七九、七七八	—	—	二、五四七	五九〇	一、四四一	六九一	三、九八六	一七七、六五七	一、二八一	五七、〇六六
同五年	二、二八一、四二一	六一〇、七七一	一八六、四七〇	四二八	二六五	二、一六六	五〇六	一、七八三	七八一	四、三七七	一九一、八五四	一、五五三	六八、〇二八
同六年	二、二四九、八三〇	六二〇、〇七六	一九二、二二三	四	四	三、四一〇	七五〇	二、一四五	九一三	五、五三九	二三六、五七〇	一、六六七	七〇、九四一
同七年	二、三三一、八六〇	六〇九、二七〇	一九七、八九七	—	—	三、〇八二	六六五	二、二二一	九八五	五、二九二	二三六、九八六	一、六五〇	七〇、七三九
同八年	二、三五九、六三五	六三三、六三五	二〇五、四三九	五	三	三、二四三	七一三	一、五七九	八三〇	四、八二七	二三四、五六五	一、五五六	六五、九四二
同九年	二、二七七、八八四	六三三、四三三	二一三、七八五	三	二	三、五四九	八〇五	一、四八九	七六七	五、〇〇四	二一一、九九五	一、五七四	六六、一九三
同十年	二、四三七、五〇三	六二四、四六〇	二三五、九七四	—	—	三、三五八	七六五	一、六四四	八二四	五、〇〇三	二〇五、二一〇	一、五九九	六五、六〇〇
同十一年	二、四七八、二三三	六四一、二九三	二三〇、三九五	一四四	八〇	三、三七八	七九四	一、九三二	八八六	五、四五四	二二〇、〇七六	一、七六〇	七一、〇一八
同十二年	二、四四九、二三七	六四二、八三三	二九〇、七四八	—	—	四、七七三	八九六	一、八三九	七九四	七、六二一	—	一、六五〇	—
同十三年	一、九二六、四〇五	四一七、八三三	二一三、一五六	—	—	五、四五九	八一二	一、九三一	四七二	七、三九〇	三八三、六一六	一、二八四	六六、六五三
同十四年	一、九九二、五六七	四二九、八五三	二四九、五九七	四三	二四	三、〇五七	六三八	一、三六九	五〇八	四、四六九	二二三、九四五	一、一七〇	五八、六三〇
同十五年 昭和元年	二、〇六八、九〇〇	四四九、七〇〇	二六二、九四二	—	—	二、七八一	四八〇	一、四三六	四五一	四、二一七	二〇三、八二三	九三一	四四、九九四
同二年	二、一四三、二〇〇	四六七、七〇〇	二六三、一九一	—	—	一、九三六	三七〇	二、六三八	一、〇六二	四、六一九	二一五、五一九	一、四三三	六六、八一六
合計	—	—	—	六二七	三、二〇五	四二、七三九	一六、一六四	二四、四三七	一三、九六〇	六七、八三〇	—	三四、三三九	—

備考
（一）本市ノ水道ハ明治三十一年十二月開始セリ
（二）給水栓數ハ飲料ニ供ズル總テノ水栓數ヲ謂フ
（三）患者數ハ大正四年以降トス
（四）表中大正十二年ハ九月一日大震災ノ爲メ人口 戸數及水栓數ハ八月末現在數ニ依リ又人口ニ對スル三病患者數並ニ死亡數ノ比ヲ省ケリ

第十三　水質完全分析成績表

昭和二年　（淀橋淨水場）

檢水種類		源水					濾過水				
試驗季節		春	夏	秋	冬	平均	春	夏	秋	冬	平均
試驗月日		25/3	25/7	31/10	12/12		25/3	25/7	31/10	12/12	
氣溫		8·0°	23·0°	27·5°	16·0°	18·8°	8·0°	23.0°	27·5°	16.0°	18.8°
水溫		8·0°	26·0°	14·0°	8·9°	14·2°	7·0°	26.0°	14·0°	9.0°	14.0°
色度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
濁度		15·0	3·0	2·0	1·0	5·2	0	0	0	0	0
臭味		異臭味ナシ	〃	〃	〃		異臭味ナシ	〃	〃	〃	
反應	アルカリ度	42·0	41·5	42·3	42·0	41·2	40·6	39.8	41·5	40·1	40.5
	酸度										
クロール		1·418	1·418	1·418	1·418	1·418	1·418	1.418	1.026	1.418	1.320
硫酸 (SO_3)		痕跡	〃	〃	〃	〃	痕跡	〃	〃	〃	〃
硝酸 (N_2O_5)		痕跡	〃	〃	〃	〃	痕跡	〃	〃	〃	〃
亞硝酸 (N_2O_3)		檢出セス	〃	〃	〃	〃	檢出セス	〃	〃	〃	〃
アンモニヤ性窒素		檢出セス	〃	〃	〃	〃	檢出セス	〃	〃	〃	〃
蛋白アンモニヤ性窒素		檢出セス	〃	〃	〃	〃	檢出セス	〃	〃	〃	〃
過マンガン酸カリウム消費量		2·212	2·528	1·738	2·370	2·212	1.116	1.185	1.185	1.185	1.167
硬度	一時硬度	0·051	0·050	0·092	0·101	0·074	0.050	0.085	0.062	0.075	0.068
	永久硬度	1·875	1·350	1·360	1·825	1·852	1·850	1.790	1.864	1.800	1.826
蒸發殘渣		72·000	62·156	59·000	61·000	63·539	59.000	60.000	54.312	58.000	57.828
鉛 (Pb)		檢出セス	〃	〃	〃	〃	檢出セス	〃	〃	〃	〃
鐵 (Fe)		痕跡	〃	〃	〃	〃	痕跡	〃	〃	〃	〃

昭和四年　月　日印刷
昭和四年　月　日發行

（非賣品）

編纂兼發行者　東京市役所

東京市外東大久保四六二
印刷者　坪井國松

東京市外東大久保四六二
印刷所　坪井印刷所

14.4
697

終